



会員の増強・ 保守の展望！

関東地方本部 副本部長 宮川 欣丈
(宮川電気通信工業株式会社 代表取締役)

立春とはなばかりであいかかわらず寒さがつづいておりませんが、どことなく春の気配もたまたまです。

日本の内外に直面している経済課題は大変な状況であり、年初よりの原油価格や中国経済下落を始めとして、円高、日経平均 3,000 円以上の下落、そして日本銀行のマイナス金利は、先行きの信頼や安心につながらないで、貯蓄やタンス預金が増える可能性が予想されそうです。アベノミクスの効果を生かし、また反作用もありますがオリンピック・パラリンピック開催まで緩やかな景気回復が予想されますので、その時間的余裕により企業のイノベーションを進めていきたいと思えます。

さて、関東地方本部の現状であります、会員の数が平成 27 年 12 月現在 245 社です。平成 25 年 12 月 270 社より 25 社減少をしてきています。原因を分析してみますと、以前とほとんど同じ理由で、経済の影響で会社の倒産・廃業であるとか、経費が掛かるので止めたい等がありますが、会員としてメリットがないという理由で退会されている状況です。

会員維持と増強が協会の大きな命題になってきました。会員は具体的にどんなメリットを求めているのでしょうか？協会にとって、会員の求めているものを正確に知ることが最も重要だと思います。協会として会員に向けた従来の NTT 等の一次代理店業務・ITCA IP フォン業務・教育・研修・勉強会・ホームページ・機関紙新風・県支部単位の新聞広告・工事損害保険・厚生年金基金等、会員利益に供する取組がありましたが、皆それぞれに共感の度合いの大小があると思えます。

◎現在、協会が推進している事項

① 平成 16 年より電話発信番号登録“0036”インセンティブ事業がありました。協会・会員の皆様が大変意欲の出る事業であり、また会員が増加した事業でした。

現在検討中で細かくは書くことができませんが、[光コラボレーション] のインセンティブ事業を是非立ち上げ、協会・会員の利益また会員増強に向け役立ててことになると思えます。

回線から端末までと言う、情報通信設備業界の信頼と安全・安心を担う“ITCA”で行きます。

② 電話設備保守契約のすすめ

情報通信機器を常に最適な状態に保ち、安心・安全・信頼の上にユーザーの仕事の後押しをすることに誇りを持つ、会員の集まりである我が協会ですが、BCP (事業継続計画) の観点から情報通信機器の安定稼働が各会社で見直されております。そこで各メーカーにそのカタログに“保守契約”のお願いの明記をして頂くよう陳情しています。

メーカーでも、(1) 安定稼働期間 (納入後 7 年) (2) 定期交換部品 (バッテリー 3 年・整流器 7 年・フロッピーディスクドライバ 5 年) (3) 保守対応期間 (製品収束後増設用 5 年) 等を定めユーザーに PR を始めたメーカーもあります。協会発行の“電話設備のすすめ”を是非利用してください。

工事担任者 (総務省ホームページ)、電気通信事業法第 70 条 (自営電気通信設備の接続) を各関係方面 (官公庁自治体、特に国土交通省・一般ユーザー・報道機関) に PR した結果、保守の重要性を認識確認したと言われております。保守契約啓蒙と保守契約先の拡大を大きな目的として、より安全で信頼性の高い通信環境を構築・維持し社会貢献に寄与する協会に、またユーザーに高く信頼される会員を目指したくご指導ご協力お願い致します。

最後になりますが、昭和 29 年 1 月より社団法人全国ピー・ビー・エックス設備協会関東支部報として発行され、現在の一般社団法人情報通信設備協会関東地方本部報「新風」が本誌 Vol.543 で終了し、本部報「ITCA」に集約されます。本当に長く愛読していただきありがとうございました。

ITCA 誌も宜しくお願ひします。



東京多摩支部の近況報告

関東地方本部 東京多摩支部長 金澤 昇
(大和通信機株式会社 代表取締役)

情報通信業界では、ユーザーニーズの多様化に伴い事業環境が大きく変わろうとしています。

情報通信設備業も枠組みを超えた取り組みや異業種との連携が益々必要とされて来ていますので、東京多摩支部会員7社では、研修会を開催してユーザーニーズに応えるべく活動をしています。

東京多摩支部の活動報告と多摩地方のご紹介をいたします。

■東京多摩支部新年会

平成28年2月5日(金)午後4時～
研修会と懇親会を開催しました。

□研修会(国分寺労政会館)

①テーマ 「ドコモ FMC サービス・オフィスリンク
について」

「ドコモ IoT ソリューション 製造業向け」

講師 株式会社ドコモ CS 多摩支店 法人営業部
・法人営業担当 主査 田中宏明氏
・SE担当 課長 山上直人氏
・SE担当 主査 ソリューションコンサル
タント 高木伸彰氏

ドコモが提供する FMC の仕組み、利用料金、導入、保守に至るまでを説明して戴きました。

携帯電話をビジネスホンや PBX の内線電話機として利用するサービスですので、会員各社にとっても関心の高いサービスです。

②テーマ 「電気通信事業法の改正について」

講師 NTT コミュニケーションズ株式会社
第五営業本部 第二営業部門
営業担当課長代理 小沼秀基氏

この法改正の背景には電気通信サービスに対する苦情・相談件数の急増という問題があります。

利用者保護の観点を重視した法律となっており電気通信事業者から代理店への指導の義務付けは勿論ですが、販売店にとっても営業担当への研修などの業務を継続的に行わなければなりません。

今回の研修では漢字ばかりの法令を具体的な事例や例えを交えて解説して下さいましたので良く理解する事が出来ました。



研修会模様

□懇親会

研修会ののち国分寺の「和食 いらか」にて講師の方も交えて懇親会を開催しました。

通信業界のトレンドや新しいビジネスモデルなど事業に関する話題から趣味など多彩な話題に楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

■多摩のお祭り

多摩地方には千年以上も前から続く祭が多くあります。

中でも武蔵の国の守り神として大國魂大神をお祀りした大國魂神社(府中市)の「くらやみ祭り」は千数百年まえに始まったと言われています。

古く武蔵国の国府で行われた「国府祭」を由来とし、明かりを消した深夜の暗闇の中で行われていたため「くらやみ祭り」と呼ばれるようになったとの事です。東京都の無形民俗文化財になっています。

毎年4月30日の品川海上禊祓式(汐汲み・お浜降り)に始まり5月6日まで様々な祭礼が行われます。

中でも日本最大級の太鼓の巡行と神輿の渡御は祭りの最大の見所です。



くらやみ祭りの太鼓

■平成28年の取り組み

情報通信業界における同業種との連携は勿論ですが異業種との連携にも取り組みビジネスチャンスの拡大を図りたいと思います。

昨年に引き続き研修会やイベントの開催とともに新規会員の獲得にも積極的取り組みで参ります。

平成 28 年新年賀詞交歓会模様

平成 28 年の ITCA 関東地方本部の恒例の新年賀詞交歓会は、1 月 13 日（水）午後 3 時から港区芝公園のメルパルク東京・瑞雲の間で賑やかに開催しました。

総務省関東総合通信局 情報通信部長 山口 浩様、東日本電信電話株式会社 東京事業部 取締役東京事業部長 浅野健志様や関連団体・関連企業、賛助会員の幹部の皆様方、情報通信設備協会本部の大木会長並びに井上理事長を来賓にお迎えし、大勢の関東地方本部会員と役員 OB など約 149 名が参加して、増々の景気回復と会員企業の業績向上、協会の発展を祈念し懇親を深めました。

冒頭、大輪 関東地方本部長が新年のご挨拶を行い、次いで来賓を代表して総務省関東総合通信局 情報通信部長 山口 浩様、東日本電信電話株式会社 東京事業部 取締役 東京事業部長 浅野健志様、大木協会会長にご挨拶をいただいたあと、井上協会理事長の乾杯の音頭に合せて会場は大きな拍手に包まれ、華やかに賀詞交歓会がスタートしました。



井上協会理事長の乾杯発声



宮川副本部長の中締め



司会の今井副本部長



会場模様



会場模様

〈挨拶〉 関東地方本部 本部長 大輪 堅一

皆さま、明けましておめでとうございます。

今年の正月は、関東地方は晴天に恵まれ希望に満ちた新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、本日はご多忙のなか、関東地方本部の賀詞交歓会に斯くも大勢のご来賓の皆様にご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。会員の皆様におかれましても、日ごろより当協会の運営につきまして、多大なるご支援ご理解を賜り重ねて御礼申し上げます。

さて、わが国の経済は、昨年からの円安基調が続くなか、大手製造業や輸出産業を中心とした一部の企業業績は最高益を更新したものの、中国経済の失速懸念などにより先行き不透明感を抱えており、民間設備投資や賃上げにはまだ慎重姿勢を崩さず、経済全体は足踏み状態を続けています。

こうした中、安倍政権は、希望を生み出す「一億総活躍」を目指すことを打ち出しました。少子高齢・人口減少といった社会構造の課題に直接メスを入れ、経済的な豊かさや生活の質を両立させたワーク・ライフ・バランス環境の推進や、家計に焦点を当てた個人消費の喚起を促し、持続的な潜在経済成長率を消費者側から底上げする狙いが見て取れます。実現に向けては、ICTを駆使したテレワークなどが必要であり、我々ICT業界も大いに恩恵を受け潤うことでしょう。2020年の目標達成に向けて、1億総力を挙げて邁進しようではありませんか。

一方、昨年は環太平洋パートナーシップ協定（TPP）が12カ国間で大筋合意に至りました。世界のGDPの4割（3,100兆円）を占め、人口8億人の一大経済圏が誕生しました。

政策大綱は、物の関税の削減・撤廃だけでなく、サービス・投資の自由化を進め、さらには知的財産、電子商取引など幅広い分野での新しいルールが制度化され、新アベノミクスが掲げる「GDP 600兆円」の切り札となるかもしれません。

TPPがもたらす効果は、これまで海外展開に踏み切れなかった中堅・中小企業が、「居ながらにして海外展開」できるなど、技術や地域の特色を生かした8億人市場へ打って出ることを政府は全力で後押ししてくれます。我々の業界でも、TPPを

生かしての中堅・中小企業が海外へ果敢と踏み出す好機として捉え、「攻め」の経営へと転じては如何でしょうか。

わが国の中堅・中小企業数は、全産業の99.7パーセントの385万社を数え、労働人口は70パーセントの3,300万人が従事しております。中核的な存在である中堅・中小企業の収益改善が、日本経済全体に好影響を及ぼし、個人消費や設備投資へとつながり、情報通信業界や会員企業の経営状態が好転することを大いに期待しております。



大輪関東地方本部長の挨拶

また、最近のICTの技術革新は目覚ましいものがあります。IoT・ビッグデータ・SDN・AIなど、特にAI（人工知能）技術は、ビッグデータによる情報量の増大と機械学習により将来予測などが超高速で可能なことから、爆発的な普及が期待されております。「東ロボ」2021年にロボットが東大入試に合格するか、2045年にはロボットが人類を超えるとも言われています。これらの技術がネットワーク上で互いに連携融合型で繋がり、インダストリー4.0（第4次産業革命）やインダストリー・コンバージェンス（異業種企業交流）などによる、「新しいビジネスの発見」や「競争条件そのものを変える」イノベーションが起こって参ります。当協会も、この技術革新と社会構造の変化を的確に捉え、賛助会員の皆様をはじめ通信事業者の皆様と連携を密にして、今後のビジネスの方向性や技術動向などをタイムリーに情報発信すると共に、調査研究・各種勉強会や講演会などへも積極的に取り組んで参ります。

今年も、会員各位のより一層のご支援ご指導を心よりお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

〈来賓挨拶〉 総務省関東総合通信局 情報通信部 部長 山口 浩 様

明けましておめでとうございます。

只今ご紹介いただきました関東総合通信局の情報通信部長の山口でございます。

本日はこのようなお席にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。

本日は、一般社団法人情報通信設備協会の関東地方本部 賀詞交歓会がこのように盛大に開催されましたことを、お慶び申し上げます。また、本部長はじめ協会の役員、会員の皆様、常日頃、私どもの情報通信行政の方に多大なるご理解とご協力を賜り、この場を借りて御礼申し上げます。

さて、年始の閣議後の記者会見で、高市総務大臣が世界最先端のICT大国を目指すというような発言をされております。その発言に関連して少し平成28年度の総務省の予算案を、簡単にご紹介させて頂きたいと思っております。先程、本部長からのお話がありましたように、2020年の東京オリンピック、パラリンピックの開催という大きなイベントに向けて、すでにご存じだと思いますが、Wi-Fi環境の整備、また多言語翻訳システムの実装ということで、具体的に社会実装を促進していくための予算項目があがっております。

また、海外の方々向けにデジタルサイネージの活用という事も実証項目で予算の中に入っております。やはり世界最先端のICT環境を、海外からのお客さんに日本に来ていただいて実感をしていただくという事で、総務省の方では色々取組みを強化している所でございます。

一方、地方創生がらみでは、個々の自治体も人口減に対して非常に危機感を持っております。やはり地元で雇用の創出を図るという意味もあって、ふるさとテレワークという項目が入っております。このテレワークに関しては非常に関心が高くなっております。人口の減少に歯止めをかけるという事と併せて、空き家対策というような事も考えられておられるようです。その他にはやはり、地元で観光客を誘致したいという事でWi-Fiというのは関心が高くなっております。その他にも、ICTによる新事業の創出、社会課題の解決のために、たとえば医療とか教育とか防災等の分野で利活用を推進していこうとい



山口情報通信部長のご挨拶

う事で、キーワードとしては、具体的には個人番号カードの活用、ビックデータ、4K、8Kというような項目が予算の案に盛り込まれております。

また、ICTの国際競争力強化という事では、ICTのインフラシステム及び放送のコンテンツを海外展開しようという事で、その為の予算項目が盛り込まれております。やはり28年度はオリンピック、パラリンピック、また、地方創生の関係で新たにICT関連の設備投資が増えるのではないかと。これは私個人の肌感覚もありまして、自治体を回った時の反応が昨年回った時と今年では全く違うということがございます。間

違わなく自治体の皆さん方は、色々な設備投資をしていこうというふうなお考えだと思います。このような状況の中で、実際にその現場で色々ノウハウを沢山お持ちの協会の会員の皆様のいわゆる出番というのは、これから非常に多くなっていくのではないかと私も期待しているところでございます。

最後になりましたが、本日お集まりの関東地方本部はじめ情報通信設備協会の皆様方の一層のご発展、ご繁栄と本日ご出席の皆様方のご健康、ご多幸を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

どうか本年も宜しくお願い致します。

〈来賓挨拶〉 東日本電信電話株式会社 東京事業部 取締役 東京事業部長 浅野 健志 様

あけましておめでとうございます。

ただいまご紹介に預かりましたNTT東日本東京事業部の浅野でございます。

まずは、情報通信設備協会関東地方本部賀詞交歓会、かくも盛会に開催されること心からお慶び申し上げます。

日頃より弊社事業にご支援ご協力頂き、また、本日もお招き頂き、誠にありがとうございます。

ご指名でありますので、僭越ではございますが、一言挨拶させていただきます。

新年も半月程が過ぎ、株式市場は慌ただしく、世界的にも決して穏やかな新年とは言い難い状況であり、また、温暖化もとまらず、新春も暖か日が続き、様々なことが予感される年になるのではと思っております。

一方、今年、リオのオリンピックイヤーでございますし、四年後の東京オリンピックに向けた準備もいよいよ本格化する年になり、背景では、様々な新技術、IoT、クラウド、AI、ビッグデータなどが益々発展し身近なものになる年になることは間違いのないでしょう。

ここは是非皆さんで分かち合える年になればと大いに期待しております。

また、このような変化が激しい中で、我々電気通信事業に携わる者が、変わらぬサービスは、やはり、安心と安全であり、物理的にもソフト的にもしっかりとセキュリティを守っていかなければならないし、災害などに対しても万全な対策、素早い対応が求められます。初夏の伊勢志摩サミットは関西だけの問題でなく、我々自身がリードしていくつもりでセキュリティ対策をすることが非常に重要だと感じています。



浅野東京事業部長のご挨拶

いずれにしろ、本年も協会のみなさまと一緒に、新技術の提供や品質はもとより、安心と安全をお客さまに提供していきたいと考えております。

情報通信設備協会並びにご加盟の会社のご繁栄、更にはご参列の皆様のご発展とご健勝をお祈り申し上げて、私の挨拶にかえさせていただきます。

本年もよろしく申し上げます。

〈来賓挨拶〉 (一社) 情報通信設備協会 会長 大木 一夫 様

皆様、明けましておめでとうございます。

ご紹介いただきました、情報通信設備協会 会長の大木でございます。

関東地方本部の皆様には全国の会員の約40%を占める地方本部として、日頃より大変ご尽力をいただいていることに厚く御礼申し上げたいと思います。

さて、電話の時代からインターネットの時代、そして今やすべてのモノがネットワークに繋がるIoTの時代と言われるように私ども事業環境というのは目まぐるしいほどのスピードで、変化をしているところでございます。この大きな変化にしっかりと立ち向かっていくと。また、これを乗り越えていく、さらにはそれをリードしていくべく私ども協会本部としましても取り組んでまいりたいと思っております。なによりもこの新たな技術、新たなサービスそれに対応した品質の高い、実力の高い、技術者の育成さらには新しい情報というものを皆さんにしっかりと提供し、また共有をし、新たな事業活動に繋げていく試み。

さらには通信キャリアの皆さんをはじめとした他分野の皆さんとのコラボレーション、協業、あるいは会員同士の協業と言うような場作りにも積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

こういった活動を是非、この関東地方本部の皆さんと共に力を合わせて前を向いて明るく取り組んで参りたいと思っておりますので、どうか引き続きのご協力をお願い申し上げたいと思っております。

最後になりますが、本年が本当に素晴らしい年になります事を心より願ひまして簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



大木協会会長のご挨拶

関東地方本部 第61回定時総会等開催のご案内

一般社団法人情報通信設備協会 関東地方本部では、運営規程第11条に基づいて第61回定時総会等を下記により開催いたしますので、会員の皆様のご出席をお願いいたします。

■定時総会

1. 日 時

平成28年5月23日(月) 午後2時30分から

2. 場 所

メルパルク東京 3階 牡丹の間

港区芝公園 2-5-20

電話 03-3433-7210

<http://www.mielparque.jp/ky/ky01.html>

3. 議 案

- (1) 平成27年度事業報告
- (2) 平成27年度収支決算報告
平成27年度監査報告
- (3) 平成28年度事業計画案
- (4) 平成28年度収支予算案
- (5) 役員を選任
- (6) その他

4. 出欠確認

会員各位には、別途「開催のご案内」を郵送し、返信用ハガキにて出欠の回答いただきますので、よろしくご協力をお願いいたします。

■永年勤続従業員表彰式

午後4時00分から 3階 牡丹の間

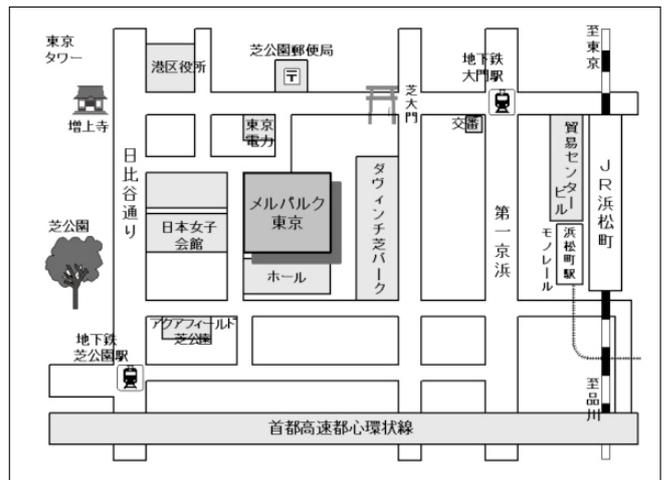
表彰者の皆様には別途ご案内をお送りいたします。

■定時総会懇親会

午後5時から 5階 瑞雲の間

定時総会出席会員及び永年勤続従業員表彰受賞者と、関係省庁・団体・キャリア・賛助会員等のご招待者様との懇親会を開催いたしますので、多数の皆様のご参加をお願いいたします。

■会場案内図



■交通

- ・JR山手線・京浜東北線
浜松町駅北口または南口から徒歩8分
- ・東京モノレール 浜松町駅北口から徒歩8分
- ・都営地下鉄三田線
芝公園駅 A3 出口から徒歩2分
- ・都営地下鉄浅草線・大江戸線
大門駅 A3・A6 出口から徒歩4分
大門駅 A1 出口から徒歩5分

～新風をご覧の皆様へお知らせ～

(一社) 情報通信設備協会 関東地方本部 広報委員会

毎号「新風」をお読みいただき誠にありがとうございます。

関東地方本部では1965年に「支部情報」の創刊から協会組織の編成とともに「関東支部報」や「関東地方本部報」の名称に変えて情報誌を発行してまいりました。

そして2005年に創立50周年を迎えたことを期に「新風」として約10年間、協会活動とICTや社会の動向をお伝えしてまいりましたが、このたび、「ITCA本部報」に「新風」の内容を取り込み、関東地方本部以外の皆様にも情報発信を行ってまいりたいと思い、今月号をもって「新風」

を終了させていただくことになりました。

次号「ITCA本部報 vol.33」より「関東地方本部 INFORMATION」として情報発信をさせていただくこととなりますので、ご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、会議・研修等のご報告は、関東地方本部ホームページの「協会関連」に掲載をさせていただきますので、併せてホームページもご覧くださいようお願い申し上げます。

今まで情報誌にご協力をいただきました皆様とご愛読いただきました皆様に御礼申し上げます。

平成28年度第1回工事担任者(AI・DD総合種)取得研修のご案内

■日時：基礎コース 平成28年4月13日(水曜日) 1日間
技術コース 平成28年4月14日(木曜日) 1日間
法規コース 平成28年4月15日(金曜日) 1日間
各コースとも 9:00~17:00
会場：U-AXISビル2階 BCC(ビジネス・コミュニケーション・センター)
中央区入船2-2-14

■研修種別

基礎コース(対象者) 試験科目の基礎を受験する方
技術コース(対象者) 試験科目の技術を受験する方
法規コース(対象者) 試験科目の法規を受験する方
(注) 現在、AI・DD総合種の科目合格が無い方は全コース受講して下さい。

■定員：基礎コース 10名 技術コース 10名
法規コース 10名

■受講料(教材費・税込)

1コース 10,800円(会員) 12,960円(非会員)

■申込方法

関東地方本部HPより「申込書」を印刷して記入のうえ、4月1日(金)までに下記へFAXでお申込み下さい。

FAX送付先：03-5244-9711

■問い合わせ先

関東地方本部事務局

TEL：03-5244-9700 FAX：03-5244-9711

※詳細は関東地方本部ホームページ (<http://kanto.itca.or.jp>) をご覧ください。

平成28年度新入社員研修のご案内

■日時：平成28年4月25日(月曜日)~27日(水曜日) 3日間
9:00~17:00

会場：U-AXISビル2階 BCC(ビジネス・コミュニケーション・センター) 中央区入船2-2-14

■講師：(株)グローバル・アソシエイツ 専任講師

■研修内容

- ① ビジスマナー 社会人、企業人としてのマナー全般
- ② 電気通信の基礎 情報通信産業の概念、通信回線とネットワーク機器
- ③ LANの基礎 LAN技術の基本概念

■定員：20名

■受講料(教材費・税込)

39,960円(教材費、消費税込み)

■申込方法

関東地方本部HPより「申込書」を印刷して記入のうえ、4月8日(金)までに下記へFAXでお申込み下さい。

FAX送付先：03-5244-9711

■問い合わせ先

関東地方本部事務局

TEL：03-5244-9700 FAX：03-5244-9711

※詳細は関東地方本部ホームページ (<http://kanto.itca.or.jp>) をご覧ください。

平成27年度第2回LAN実機トレーニング研修報告(情報ネットワークプランナーマスター2015資格取得)

■日時：平成28年1月27日(水曜日)~28日(木曜日)
2日間 9:00~17:00

場所：U-AXISビル2階 BCC(ビジネス・コミュニケーション・センター) 中央区入船2-2-14

■受講者数：10名

■報告：社内ネットワークの構築並びにインターネット接続に至る一連のネットワーク設計、配線に関する技術について、実習を通じて実践的かつ体系的に高度な知識を習得しスペシャリストを目指すための、第1回技術資格認定「LAN実機トレーニング」研修を行いました。2日目研修終了後に実施した「情報ネットワークプランナーマスター2015」資格認定試験には全員が合格しました。

※「情報ネットワークプランナーマスター」資格は、お客様に安心・安全で信頼あるLANの施工・保守・運用サービス

を提供する企業を認定するため、平成21年に協会が創設した「LAN認定制度」の適合条件の一つとなっています。資格者が所属している会員各社には、「LAN認定」申請されることをお勧めいたします。
(協会ホームページ <http://www.itca.or.jp/support/index.html>)



研修会場の様子



設定に取組む受講生

平成27年度第2回無線LAN研修報告

■日時：平成28年1月29日(金曜日) 9:00~17:00

場所：U-AXISビル2階 BCC(ビジネス・コミュニケーション・センター) 中央区入船2-2-14

■受講者数：7名

■報告：「情報ネットワークプランナーマスター」資格取得者または同等の知識を有した方に適した研修で、無線LANの構成やアクセスポイントの設定方法及び無線端末(ノートPC)の設定を含め、基本的な知識や技術を実習により習得しました。



研修会場の様子



設定に取組む受講生

第6回委員長会議模様

■日時：平成28年1月13日（水曜日）11：00～12：00

場所：メルパルク東京 華厳の間

■出席者

大輪本部長、宮川副本部長、今井副本部長、
長谷川教育委員長、松山広報委員長、高瀬業務委員長

■議題

(1) 審議事項

- ①会員の入退会について
- ②会員拡大に向けた取組みについて
- ③会費未納会社の状況について

- ④平成28年に向けた事業計画及び収支予算（案）について
- ⑤その他

(2) 周知事項

- ①平成28年度新賀詞交歓会について
- ②平成28年度予算書及び平成27年度決算書の提出について
- ③平成28年度の具体的な取組みについて（各委員会）
- ④平成27年度の財務状況について（H27.12月期）
- ⑤その他

(3) 委員長等活動報告

- (4) その他

第5回幹事会議模様

■日時：平成28年1月13日（水曜日）13：00～14：00

場所：メルパルク東京 華厳の間

■出席者

大輪本部長、宮川副本部長、今井副本部長、
長谷川教育委員長、松山広報委員長、高瀬業務委員長、
金澤幹事、岩田幹事、樋川幹事、山本幹事、
能地幹事、清水幹事、木村清高幹事、
児玉幹事、塚本幹事、久野幹事、島津幹事、
福島監事、高橋監事

■議題

(1) 審議事項

- ①会員の入退会について

- ②会員拡大に向けた取組みについて

- ③会費未納会社の状況について

- ④平成28年度に向けた事業計画及び収支予算（案）について

- ⑤その他

(2) 周知事項

- ①平成28年度新年賀詞交歓会について

- ②平成28年度予算書及び平成27年度決算書の提出について

- ③平成28年度の具体的な取組みについて（各委員会）

- ④平成27年度の財務状況について（H27.12月期）

- ⑤その他

(3) 委員長等活動報告

- (4) その他

第3回教育委員会模様

■日時：平成28年1月25日（月曜日）13：00～15：00

場所：情報通信設備協会 会議室

■出席者

長谷川教育委員長、塚本委員、
島津委員、木村清高委員

■議題

- (1) 平成27年度研修等実施状況について

- (2) 平成28年度の具体的な取組みについて

- (3) 平成28年度事業計画（予算）について

- (4) 平成28年度研修等計画（案）

- (5) その他

第4回業務委員会模様

■日時：平成28年1月25日（月曜日）15：00～17：00

場所：情報通信設備協会 会議室

■出席者

高瀬業務委員長、能地委員、清水委員、久野委員

■議題

- (1) 平成28年度の事業計画（具体的な取組み）について

- (2) 新商材について

- (3) その他

第3回広報委員会模様

■日時：平成28年1月26日（火曜日）15：00～17：00

場所：情報通信設備協会 会議室

■出席者

松山広報委員長、島津委員、木村清信委員

■議題

- (1) 平成28年度の事業計画について

- (2) 平成28年度の具体的な取組みについて

- (3) その他

第4回組織委員会模様

■日時：平成28年2月2日（火曜日）13：00～15：00

場所：情報通信設備協会 会議室

■出席者

宮川組織委員長、今井委員、清水委員、
木村清高委員、山本委員、能地委員、
長谷川委員、高瀬委員、金澤委員

■議題

- (1) 平成28年度の事業計画について

- (2) 平成28年度の具体的な取組みについて

- (3) NTT 東日本様からのご提案について
「光コラボレーションモデル」を活用した会員の支援サービス

- (4) その他

第3回総務財務委員会模様

■日時：平成28年2月2日（火曜日）15：00～17：00

場所：情報通信設備協会 会議室

■出席者

今井総務財務委員長、児玉委員、岩田委員

■議題

- (1) 平成28年度の事業計画について

- (2) 平成28年度の具体的な取組みについて

- (3) その他